



久保台小だより



龍ヶ崎市立久保台小学校

学校だより No.2

令和6年5月13日

主体的・協働的な学びを目指して

5月を迎え、校庭の木々の若葉も、緑を一層鮮やかにしています。4月の始業式、入学式から1か月。久保台小学校の子どもたちも新しい学年での生活に慣れ、元気に毎日を過ごしています。

先日の授業参観・懇談会では、ご多用の中、多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。今年度初めての授業参観ということもあり、少し緊張した様子も見られた子どもたちでしたが、保護者の皆様の温かいまなざしの中で、集中して課題に取り組む姿が見られました。新型コロナウイルスの感染症が落ち着きを見せ、少しずつではありますが学校も教育活動を活発に行えるようになっております。今後も安全面に十分な対策を図りながら、可能な限り保護者の皆様に子どもたちの活動の様子をご覧いただく機会を確保していきたいと考えております。

さて、今年度本校では「主体的・協働的な学びを実践し学力向上を図る」、「安心して学べる学級集団をつくる」という学校組織目標のもと、子どもたちが主体的に、そして、協働的に物事に取り組む態度を育ててきたいと考えています。「主体的」とは「自分の判断、意志に基づいて行動すること」を意味しています。近い将来、多くの分野で人工知能が人間の代わりを務めるとされていますが、この人工知能と人間との違いは、目的を自ら考え出すことができる点にあると言われます。つまりは「主体的」に物事に取り組めることこそが人間の「強み」になるということです。また、「協働的」とは「同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと」を意味しています。子どもたちに身に付けさせたい資質・能力に当てはめると「同じ目的」とは「持続可能な社会の作り手となる」こと、「対等の立場」とは、「あらゆる他者を価値ある存在として尊重」することとなります。つまり、「協働的な学び」は、多様な他者ととも持続可能な社会を創っていくための資質・能力を育成する学びであるといえるでしょう。予測できない変化の中にあっても、自ら目的や価値を見出し、社会や世界と向き合いながら自分の人生を切り拓いていく。将来、久保台小学校の子どもたちが、そんな豊かな人生を歩んでいけるようになるためにも、学校教育の中で、ぜひこの主体性と協働性を身につけさせていきたいと考えています。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。 校長 黒瀧 鉄夫

保護者・地域と共に育む久保台っ子

子どもたちは学校生活の中で友達や上級生、下級生との関わりを通して、生きる力を体験的・経験的に学んでいきます。さらに、保護者や教師、地域の方々といった大人の姿を見て、視野を広げたり、夢をもったりしながら成長していきます。今年度も保護者・地域の皆様の支援によって、子どもたちの学びや成長を後押ししていただいています。活動の様子も積極的に公開していきますので、ぜひ学校まで足をお運びください。

【子どもたち同士の関わりを通して】

1年生を迎える会



見守り隊



お話し会



クラブ活動



引き渡し訓練



環境学習

【保護者・地域の方との関わりを通して】